

2022年5月12日

各位

会社名 クルーズ株式会社
(コード番号 2138: 東証スタンダード)
所在地 東京都渋谷区恵比寿四丁目3番14号
恵比寿SSビル
代表者 代表取締役社長 小淵宏二
問合せ先 取締役 最高財務責任者 CFO 稲垣佑介
電話番号 (03) 6387-3622

2022年3月期 通期連結業績と前期実績の差異に関するお知らせ

当社は、2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期連結業績と前期実績との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。なお、当社は当該期間に係る業績予想を公表していないため、増減につきましては実績値との比較となっております。

記

1. 開示を要する差異が生じた理由

売上高に関しては、当期の期首より「収益認識に関する会計基準」が新しく適用されたため、当期の実績値は当該会計基準を適用した後の数値となっており、前期実績と比較しての増減額および増減率(%)は記載しておりません。

営業利益に関しては、当期1,238百万の営業利益となり、前期比で42.0%の減益となりました。主な理由としては、主力事業のSHOPLIST事業が、取扱高の減少により前期1,942百万円のセグメント利益から当期915百万円のセグメント利益まで減益となったことと、ゲーム事業が2021年12月8日にリリースした新作ゲーム『SHAMAN KING ふんばりクロニクル』にかかる一時的な開発コストの負担により、前期149百万円のセグメント利益から当期379百万円のセグメント損失となったことが挙げられます。一方で、上記以外の事業について事業進捗は順調であり、インターネット広告・メディア事業については前期480百万円のセグメント利益から当期671百万円のセグメント利益、その他事業については赤字だった事業が黒字化したことで前期343百万円のセグメント損失から当期106百万円のセグメント利益へと大幅に増益となっております。また、経常利益の差異についても、営業利益と同様の要因によるものです。

なお、親会社に帰属する当期純利益に関しては、当期に当初見込みと比較し収益見込の低下した一部の新規事業に関わる減損損失および当社が保有する投資有価証券の一部で実質価額の下落による投資有価証券評価損を計上したことによります。

詳細については、本日開示しました「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご覧ください。

2. 2022年3月期(通期) 連結業績と前期実績値の差異

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前期実績値(A) (2021年3月期)	百万円 35,714	百万円 2,134	百万円 2,245	百万円 1,433	円 銭 128.91
当期実績値(B) (2022年3月期)	15,477	1,238	1,292	310	27.91
増減額(B-A)	—	△896	△952	△1,122	—
増減率(%)	—	△42.0%	△42.4%	△78.3%	—

以上